

# 小学校における国歌「君が代」の指導

## 【小学校学習指導要領 音楽】第3 指導計画の作成と内容の取扱い

国歌『君が代』は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。

## 【小学校学習指導要領解説音楽編】1 指導計画作成上の配慮事項を参照

児童が、将来国際社会において尊敬され、信頼される日本人として成長するためには、国歌を尊重する態度を養うようにすることが大切です。

小学校音楽科においては、「国歌『君が代』は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること」と示されており、入学式や卒業式等必要なときには、児童がいつでも歌えるようにしておく必要があります。

そのためには、表現学習の目標や内容と関連させ、児童の発達段階に即していずれの学年においても適切な指導を行うような指導計画を作成する必要があります。

国歌の指導に当たっては、国歌「君が代」は、日本国憲法の下において、日本国民の総意に基づき天皇を日本国及び日本国民統合の象徴とする我が国の末永い繁栄と平和を祈念した歌であることを理解できるようにする必要があります。

## 小学校第1・2学年

### 【小学校学習指導要領解説音楽編】1 指導計画作成上の配慮事項(3)

「指導に当たっては、低学年では上級生が歌うのを聴いたり、楽器の演奏やCD等による演奏を聴いたりしながら親しみをもつようにし、みんなと一緒に歌えるようにすること、(後略)が大切である。」

### 【1 単位時間の学習活動例】〔使用する教科書：「音楽のおくりもの1」(教出 P56)「小学生のおんがく1 (教芸 巻末)」

#### 小学校第1学年 題材名「ようすをおもいうかべて うたおう」(月)

本時の目標 国歌「君が代」に親しみ、旋律を聴きながら歌うことができる。

教 材 「ひのまる」、国歌「君が代」

内 容 A表現 (1)歌唱 ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりして歌うこと。

過程	主な学習活動	指導上の留意点
導入	前時の既習曲「ひのまる」を歌う。 ・「ひのまる」の歌詞の表す情景を想像し、旋律を確認しながら歌う。 国歌「君が代」を聴く。 ・国歌「君が代」のオーケストラ演奏を鑑賞する。 ・どのような時に聴いたことがあるか発表し合う。 ・「相撲」、「オリンピック」、「ワールドカップ」等で選手が国歌「君が代」を歌っている映像を鑑賞する。 本時の学習課題を確認する。 うたをきいて うたおう	・「ひのまる」と関連させて、興味・関心を高めるようにする。 ・選手が「君が代」を歌っている姿を見ながら「君が代」を聴いて親しみをもつようにする。 ・旋律の意味を説明する。
展開	範唱を聴いて、国歌「君が代」を歌う。 ・教師の歌詞による範唱に続いて、口ずさむ。 ・繰り返しながら、徐々に旋律を覚える。 国歌「君が代」を通して歌う。 ・範唱入りの伴奏CDに合わせて歌う。 ・曲に合わせて体を動かし、曲の感じをとらえる。	・児童の負担を考慮し、速度をあまり遅くせず、2小節ずつ繰り返す。 ・旋律を聴きながら合わせて歌い、親しむようにする。
まとめ	本時で学習したことを確認する。 ・ゆったりとした気分の曲であることを知る。 次時の学習を知る。 ・様子を思い浮かべながら、思いをもって歌う意欲をもつ。	・速度が遅く、音程も跳躍する箇所が多いことから、徐々に旋律を覚えながら歌えるようになるよう励ます。

### 小学校第1・2学年における他の学習活動例

上学年が歌っているところを見たり、オーケストラによる演奏を鑑賞したりして親しみをもつ。

共通教材の「ひのまる」を学習する際、一緒に取り上げ、楽曲の気分を感じ取り、思いをもってみんなと一緒に合わせて歌えるようにする。

音楽の時間のはじめに歌う愛唱歌の1つとして取り入れ、みんなと一緒に合わせて歌えるようにする。

## 小学校第3・4学年

【小学校学習指導要領解説音楽編】1 指導計画作成上の配慮事項(3)

「指導に当たっては、(中略)中学年では歌詞や楽譜を見て覚えて歌えるようにすること、(後略)が大切である。」

【1単位時間の学習活動例】〔使用する教科書:「音楽のおくりもの3」(教出 P56)「小学生の音楽3(教芸 巻末)」

小学校第3学年 題材名「にっぽんのうた みんなのうた」(月)

本時の目標 八長調の楽譜や階名を見て、旋律の流れを感じながら歌うことができる。

教材 「春の小川」、国歌「君が代」

内容 A表現 (1)歌唱 ア 範唱を聴いたり、八長調の楽譜を見たりして歌うこと。

過程	主な学習活動	指導上の留意点
導入	前時の既習曲「春の小川」を歌う。 ・「春の小川」の歌詞の表す情景を想像しながら歌う。 ・階名で歌い旋律の流れをつかむ。 本時の学習課題を確認する。 楽譜を見ながらせんりつの流れをつかんで うたおう	・「春の小川」と関連させて、階名で歌うことへの意欲を高めるようにする。
展開	国歌「君が代」を階名で歌う。 ・楽譜を見ながら教師の範唱に続いて、階名で歌う。 ・階名で通して歌う。 旋律の流れを感じ取る。 ・旋律の流れについて気付いたことを発表し合う。 国歌「君が代」を通して歌う。 ・楽譜を見ながら旋律の流れに注意して、伴奏に合わせて歌う。	・児童の負担を考慮し、2小節ずつ繰り返す。 ・「春の小川」と対比させて、速度やフレーズなどの変化等に着目するようにする。
まとめ	本時で学習したことを確認する。 ・速度の違いによって曲の雰囲気が変わることを知る。 ・国歌「君が代」は、フレーズが変化する曲であることを知る。 次時の学習を知る。 ・旋律の流れを意識しながら、思いや意図をもって歌うことに意欲をもつ。	・音程が離れた箇所を意識しながら、覚えて歌えるようになるよう励ます。

小学校第3・4学年における他の学習活動例

音楽の時間のはじめに歌う愛唱歌の1つとして取り入れ、歌詞や楽譜を見て覚えて歌えるようにする。

鑑賞において、行進曲と君が代を指揮しながら曲想の違いを比べるなどして、拍の流れや速度、強弱の働きとその効果を感じ取るようにする。

## 小学校第5・6学年

【小学校学習指導要領解説音楽編】1 指導計画作成上の配慮事項(3)

「指導に当たっては、(中略)高学年では国歌の大切さを理解するとともに、歌詞や旋律を正しく歌えるようにすることが大切である。」

【1単位時間の学習活動例】〔使用する教科書:「音楽のおくりもの5」(教出 P56)「小学生の音楽5(教芸 巻末)」

小学校第5学年 題材名「心を合わせて」(月)

本時の目標 歌詞の意味を理解し、思いや意図をもって歌うことができる。

教材 国歌「君が代」

内容 A表現 (1)歌唱 イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。

過程	主な学習活動	指導上の留意点
導入	国歌「君が代」を歌う。 ・前学年までの学習内容を想起しながら歌う。 本時の学習課題を確認する。 歌詞の意味を理解して、気持ちを込めて歌おう	・旋律の流れなどを思い出しながら歌い、意識を高めるようにする。
展開	国歌「君が代」の歌詞の意味を理解する。 ・説明を聞いて歌詞のおおまかな意味を理解する。 歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫する。 ・歌詞の意味から感じ取ったことを発表し合う。 ・歌詞の意味や曲想を感じ取って、どのように歌うとよいか考える。 ・表現の工夫について話し合う。 国歌「君が代」を歌う。 ・表現の仕方について考えたり、試したりしながら思いや意図をもって歌う。	・歌詞全体の意味を理解するようにする。 ・きれいな発音を心掛けて、気持ちを込めて歌うことが大切であることを意識させるようにする。
まとめ	本時で学習したことを確認する。 ・歌詞の意味や曲想を感じ取って歌うことが大切であることを知る。	

小学校第5・6学年における他の学習活動例

イ短調の旋律と国歌の旋律を比べるなどして、旋律を正しく歌えるようにする。

音楽の時間のはじめに歌う愛唱歌の1つとして取り入れ、歌詞や旋律を正しく歌えるようにする。

鑑賞において、我が国の音楽を取り扱う際に、雅楽で使われている音階とかかわりが深いことを理解する。